



1. 電話詐欺被害を防いだ学友に感謝状

10月17日午後23時半ごろ、甲府市内のコンビニエンスストアでアルバイトをしていたレー・チュオン・ロクさん(2020-22/甲府南RC)が、70代後半の男性客より「電子マネーカードを大金でまとめて購入したい」という申し出を受けました。不審に思い用途を確認したところ、目的や電子マネーカードに関する理解度が曖昧だったことから、電話詐欺を確信。110番通報を行い、男性客が電話詐欺被害に遭うのを未然に防ぎました。



甲府署で感謝状を受け取ったロクさん(中央)

ると、ロクさんは真面目で正義感が強い学生とのこと。「日本人でさえ声掛けを躊躇することが多い中で、人や社会のために役に立ちたいと考え、行動するロクくんだからこそ、できた行動だったと思います」と、ロクさんの対応を称賛しました。

甲府警察署は11月28日、この勇気ある行動に対し、天野英知署長が感謝状を贈呈。受け取ったロクさんは、「詐欺被害を防ぐことができとても嬉しいです。今後も地域社会に貢献できるよう頑張ります」と、述べました。

2. 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

+ 5.5%

普 - 1.7% 特 + 9.2%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて5.5%増(普通寄付金:1.7%減、特別寄付金:9.2%増)、約3,700万円の増加となりました。多くのロータリ

アンからご寄付をいただきまして、厚く御礼申し上げます。12月30日までに当会口座に着金した特別寄付金については、確定申告用領収証を来年1月末日までに各クラブ宛に発送します。詳細は、ページ下の案内をご覧ください。年内はお早目にご送金くださいますようお願いいたします。

3. 第5代よねやま親善大使を募集 (2/15まで)

ロータリー米山記念奨学会では、第5代よねやま親善大使の募集を開始します。「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区大会・米山セミナーなどでスピーチを行い、当事業への理解を広める活動をしています。奨学期間を終了した日本国内在住の米山学友で、スピーチが得意な方、ロータリー活動に熱意のある方の

応募をお待ちしています。任期は2023年7月から2年間、応募締切は、2月15日(当会必着)です。詳しくは、当会ホームページの「News & Topics」>「重要なお知らせ」をご覧ください。お知り合いの学友で適任の方がいれば、ぜひご推薦ください!

(※学友本人からの応募が必要です)



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「**税額控除**」か「**所得控除**」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末日までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。**12月30日(金) 当会着金分までが対象です。**

米山記念奨学会事務局は、12月28日(水)~1月5日(木)の間休業させていただきます。来年は1月6日(金)より通常業務となります。



4. 韓国米山学友会総会が3年ぶりの対面開催



11月26日、ソウル市内のホテルにて、韓国米山学友会総会が開催されました。同学友会の総会は3年ぶりに対面開催となり、会場には60人が参加しました。

第1部は、全炳台会長（1980-83/仙台北RC）の挨拶を皮切りに、当会の若林紀男理事長

からのビデオメッセージが上映され、梨泰院での事故への追悼の意を表すとともに、同学友会の発展と世界平和への願いが語られました。また、滝澤功治副理事長が会場に出席し、激励の言葉を述べました。

韓国の現代音楽である「サムルノリ」の公演で華々しく幕を開けた第2部は、同学友会が独自で支援する現地日本人奨学生の新近況報告や、来年8月5日・6日につくば市で開催される世界大会「再会 in 関東」の紹介などが行われました。ようやく対面での開催ができた今回の総会には、日本からも多数の学友やロータリアンが出席し、大盛況となりました。

5. 米山の絆を深めてポリオ根絶をアピール

10月23・24日、国際ロータリー第2750地区の米山奨学生・ロータリアン一泊研修旅行が開催されました。米山奨学生同士の絆、米山奨学生とロータリアンとの絆を深めることに重点を置いたという今回の研修旅行には、米山奨学生20人、ロータリアン21人、ローターアクター1人の、総勢42人が参加。

目的地の伊勢神宮では、御神楽奉納などを特別拝観し、日本の歴史と伝統を体感。また、24日の「世界ポリオデー」に合わせ、全員で「エンドポリオナウ」のシャツを着用。ポリオ根絶をアピールするとともに、参加した奨学生も、



お揃いのシャツで記念撮影

ポリオへの関心と理解を深めました。同地区の柳田一行米山記念奨学委員長は、「奨学生たちが心から楽しんでいる姿、素敵な笑顔が、ロータリアンとして最高の幸せを感じた瞬間でした」と、充実の研修旅行を締めくくりました。

6. 「恩返し」のチャリティー奉仕リレー第2弾

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」に向けた、関東10地区学友会による“チャリティー奉仕リレー”。

前回の国際ロータリー第2770地区米山学友会に続く第2弾として、11月13日、第2750・2580地区米山学友会、ローターアクトクラブによる「南北合同地区行事」が開催され、募金活動とプロギング活動（ジョギングとゴミ拾いをミックスした、スウェーデン発祥の取り組み）を行いました。募金活動では、



取り組みについて紹介する米山学友

米山奨学生として支援をいただいた「恩返し」として、日本の貧困に苦しむ子どもたちへの教育支援をしたい、という学友たちの思いに対し、多くの寄付が集まりました。

以前から、こども食堂への支援を行っている第2750地区米山学友会の李炫漆会長（2011-13/東京お茶の水RC）は、「チャリティー奉仕リレーにローターアクターが初参加し、ロータリーファミリーの横の輪が広がり、嬉しく思います」と、述べました。